

（魅力動画）

（行事案内）

（入会申込フォーム）

（お問合せ）

（同友会ってどういう会？）

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2025年（令和7年）
5月号
No. 446
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広 報 委 員 会
〒901-0152
沖縄県那覇市字小嶺1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



社員の成長が一番の喜び

(株)もりお・沖縄

代表 嘉数 智絵氏

＜中部支部・碧の会＞

今年で創業五十五周年を迎えた沖縄市の(株)もりお・沖縄の代表 嘉数智絵氏にお話を伺いました。

同社は、県内量販店・ホームセンターへの自転車、ひな人形や鯉のぼり等の季節商品、イルミネーション等の卸売及び輸入を行っています。二〇一九年十二月には商号を「(株)もりお玩具」から「(株)もりお・沖縄」に変更しました。

嘉数さんのご両親は一九七〇年に創業し、その三年後には法人化。折からのベビーブームにより業績は拡大。沖縄に店したダイエーとの取引を開始した際、これまで作成したことのない企画書や見積書の提出を求められ、初めは戸惑いましたが、そこで培ったノウハウを活かして県内の量販店に売り込みを強化。売上は順調に伸び、ピーク時には県内に七店舗を展開していました。しかし、少子化の影響もあり、徐々に店舗の縮小を余儀なくされることとなりました。

二〇〇六年に専務であった母親の勧めで同友会に入会。碧の会で出会った様々な先輩女性経営者から刺激を受けます。会

二〇一六年に父親の後を継ぎ社長に就任しました。就任当初は、これまでやってきた仕事の延長だろうと思っていたものの、実際社長になってみるとその肩書がこんなに重いのかと実感しました。改めて、これまでの父親の仕事の大きさを思い知ったとのこと。その一方で、会長となっ

嘉数さんが社長に就任した年から、全社員参加の経営計画発表を年に一度実施することが恒例となりました。当初、嘉数さんは、難しそうとなかなか積極的になれませんでした。が、碧の会の仲間から「簡単でいいんだよ」

碧の会の部長を今年任期満了となる嘉数さん。本日は人前で話すことが大の苦手。それでも「チャレンジさせてもらって感謝している」とのこと。今後「苦手でも楽しく」をモットーに、さらなる飛躍を目指して邁進していく嘉数さんの取り組みや新たな展開に注目していききたいと思います。（司法書士法人なかいし事務所・新城千夏）



「苦手でも楽しく」社員と共に成功発展

一般社団法人沖縄同友会 設立総会を開催！

4月25日、パシフィックホテル沖縄にて、定時総会が開催され、（一社）としての沖縄同友会がスタートしました。設立総会の内容は次号の「ニライみらい」に詳細を掲載します。

「ニライみらい」 次号からサイズ変更！

次号の447号から、「ニライみらい」はA判サイズに変更します。乞うご期待！！

《会社概要》
(株)もりお・沖縄
代表 嘉数 智絵氏
＜中部支部・碧の会＞
住 所 / 沖縄市字大里1-10-38
TEL / 098-938-6560
事業内容/ 玩具卸売業

茶論
ひさしぶりに中部支部女子数名が集まっておしゃべり飲み会。以前は頻繁に女性だけの親睦会を開いていたのですが、コロナ禍でリアルに会うことも少なく寂しい限りでした。ところが最近、嬉しいことに会いたいの声掛けがあり数人にスケジュールを調整してもらい開催の運びとなりました。久しぶりに会う方々、本当に素敵な仲間たちです。▼同友会に入会しての知り合いですが、行事や例会以外でも交流を持てること、さらに同友会のいいところは、本音で対話できることです。▼仕事のこと家庭のこととも沢山の悩みを抱えているが、社員の為、家族の為に頑張っている女性社長たち、たまには愚痴を聞いてもらいたいながら心を軽くして明日は晴れるかなと元気をもらっています。▼二代目女性社長の奮闘記は、後継者問題のヒントになり、従業員のメンタルサポートの対処方法など、話題満載の時間がいっぱいありました。料理を持ち寄り、凄く美味しいケーキを作る旦那様の話で盛り上がりながら幸せな時間をすごせたので、次回もゆるっと集まったりいいねと帰宅の途につきます。▼まじめな勉強会ではないただ話だけの会も大切だと改めて感じました。仲間づくりにも繋がる気がします。次回も、気になる方をお誘いしたいです。（仲本和美）

社会人としての第一歩を踏み出す 合同入社式・新入社員研修会
新入社員43社104名！

四月三日・四日の二日間、ユインチホテル南城にて二〇二五年合同入

社式・新入社員研修会が四十三社の新入社員一〇四名が参加して行われました。



辞令交付

共同求人委員会・社員教育委員会合同で行われるこの研修会は、共同求人等を通して採用した大事な新入社員が社会人としてスタートする大切な取り組みで、年間で開催する新人フォローアップ研修の第一歩となります。

新入社員各社五十二名の付添

者と学校関係の来賓で始まった合同入社式は、肅々とした空気の中、各社長より辞令交付を行い、新入社員二名から決意表明がありました。

その後の新入社員研修会是一日目に、イカリ消毒沖縄（株）の仲本明社長の「社会人の心構え」講話、ビジネススマナリーの講師は、アグレアール印刷象美人のあらかき咲美社長、コミュニケーションゲームは、お馴染みの琉球補聴器・森山賢社長

の講義と続きました。二日目は、三名の先輩からの体験報告、そして「チームワークレクリエーション」をイコール

パートナー（株）の西川利明社長に講義いただきました。この講義では、頭と体を使ったゲームを通して、楽しみながらチームワーク、健康、自己管理を学び、協力して目標を達成する喜びを実感でき

健障者委員会学習会
いまさら聞けない障がい者雇用の困りごと

健障者委員会は、3月5日、沖縄産業支援センターとZoo m併用で、学習会を開催し、三十二名が参加しました。

「いまさら聞けない障がい者雇用の困りごと」なかつに聞こえる「のテーマで、（福）みやこ福祉会障害者就業・生活支援センターみやこ所長の神里裕丈氏と社会福祉

また、2日間で3回行われたグループ討論では、お互いを感じたこと、学んだことを出し合い、更に自分自身の考えを深めました。最初は緊張で緊張していた表

法人若竹福祉会のセンター長、吉川嘉朝氏、南部地区障害者就業・生活支援センターブリッジの國吉利生主任の三名が報告しました。

「なかぼつ」とは、障がいのある人が仕事・生活に関することを相談できる施設の略称です。障がい者雇用に取り組む企業にとって、不安や困りごとなどの寄りどころ

は、社員とともに経営に取り組む経営者の想いを語り合い、社員と共に育つことが大切だとの意見が挙がりました。

（カラオケ同友会・島尻裕巳）

三月二十一日、沖縄産業支援センターにて那覇支部西・北地区合同例会が開催され、「心の痛み」『あなたの中にある、組織を壊し、また強くもするもの』をテーマに（株）ハルモニアグランデ社長の小橋川牧氏が報告し、六十名が参加しました。

独立、現在の人材育成に特化した事業の紹介までを行いました。しかし、幼少期からの体験は壮絶で、父親のDVや学校でのいじめから不登校・非行、自らの発達障害やセクシャルマイノリティ、うつ病など赤裸々に報告しました。

また、県庁時代の出向先では「部下の未来のために頑張るんだ！」という意気込みも、「私たちの邪魔をしないで！」そんな一言からの苦悩と葛



報告者の小橋川牧氏



3名からの報告

碧の会、会員交流委員会の主催で三月十一日に参加者二十一名でバスツアーが決定されました。行きは少し小雨でしたが名護に到着する頃には晴れ間も見られようど良い天候にも恵まれました。



きつい山歩き

行きのバスでは六名の方が健康経営プレゼンをされ、プレゼンターの皆さんが大変、活き活きと発表されているのがとても

途中で弁当を受け取り、いざ出発！と最初は皆、意気揚々でしたが、とてもハードな登山コースに段々と口数も少なくなり励まし合いながら登る事、約一時間半、無事に山頂到着した時は感動もひとしおです。汗をかいた後のお弁当は格別で達成感と充実感に包まれました。



名護岳山頂でみな達成感！

下山後、ヘリオス酒造にて施設見学と美味しいビール試飲も頂きお土産購入も楽しめました。帰りのバスでは前森さんか

情も、コミュニケーションゲームの頃には笑顔が増え、イキイキとした表情に変わっていました。二日目の最後には「創作発表会」で十三グループからバラエティー豊かな発表で会場は大盛り上がり

合同での入社式・研修とあって、マスコミも注目し、夕方のニュースで放映され、朝刊にはタイムス・新報の両紙が、JTAの入社式と横並びにして大きく掲載されました。

新入社員だけでなく、付添者として参加した経営者・社員からも多くの事を学べたという声が多



来賓を迎えての入社式

第2回経営サポート学習会

自社の経営を自己診断しよう！

経営委員会は二月二十八日、沖縄産業支援センターにて、第2回経営サポート学習会を開催し十名が参加しました。

「今、あなたの会社の状態は？自社の経営を自己診断しよう」のテーマで総合包装時(株)の会長宮城勇氏が『企業変革支援プログラム ver.2』を使って講義しました。



宮城勇氏

宮城氏は冒頭、企業変革支援プログラムの全体像を説明。その後、企業プロフィール記入シート

での取り組みや変革検討シートを紹介しながら、自社の成長を事例報告しました。

登録し、第一歩をはじめました。宮城氏は、企業の成長発展を図るものさしとして、経営者と社員が一緒に取り組むことが大切だと強調しました。



DXについてのワークショップ

那覇支部 経営基礎講座第5講
いまさら聞けないDXの基本のき

3月5日、沖縄産業支援センターにて、「いま



山城常秀氏

さら聞けない！DXの進め方の基本のき」のテーマで、(株)レキサス取締役の山城常秀氏を講師に那覇支部経営基礎講座第5講が開催され十二名が参加しました。

「クラウドのことがよく分からない」「デジタルトランスフォーメーション」の違いを明確にし、クラウドやデジタルツールを活用した具体的な業務改善のステップを事例を交えて報告しました。IT化や

那覇支部 新会員心流ランチ会
同友会を身近に感じる！

三月六日、沖縄県体協スポーツ会館一階にて新会員心流ランチ会開催し、三名の新会員を含め、十三名が参加しました。

その後、同友会の活用について意見を交換し、参加者からは「同友会を身近に感じる」ことができた」と感想がありました。

「梃の動画が沖縄広告賞『WEBフィルムシリーズ部門』で銀賞を受賞しました！」取材日の二日前に自身のSNSで喜びを報告したのは、WEB・メディア等で、企業の課題解決を図る(株)梃の高松茂夫代表取締役。しかし、これは長く厳しい時代を耐えた一つの結果でもあるのです。



高松茂夫氏

経営指針作成講座から「会社が始まった」創業連続4期赤字からの逆転劇を！

念願の五十万円の黒字に。しかし社員の給与と会社の未来をどうすべきかに頭を悩ませ、余裕を失い同友会を退会することと考えていた頃、同友会の先輩経営者から「絶対に経営指針作成講座は受けとけ！」と言われ受講を決意します。

の会社はマジで始まった」高松社長はそう力強く語ってくださいました。(株)梃はこれまで下請け的な制作会社の色合いが強かったのですが、今後は自社でブランディング、マーケティング、プロモーションを一気通貫して行い、企業の課題解

《会社概要》

(株) 梃

代表取締役社長 高松 茂夫氏
(那覇支部)

住所／浦添市城間1-3-1 SOHビル302
TEL／098-963-9848

事業内容／広告業（Webと映像のマーケティング、プロダクト開発）



ランチしながら情報交換



新会員の皆さん

- ①(株)あしびつとワークス 代表取締役 葦科邦利氏
- ②沖縄マリーンサービス ブルーケーブ 代表 森勇策氏
- ③U・W・A・N 代表 棚原秀樹氏

3月新会員オリエンテーションが三月十二日、中部支部設営で中城村のあやかりの杜にて開催され十五名が参加しました。

3月新会員オリエンテーション in 中部



文進印刷株式会社

本社／〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4
TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

那覇営業所／〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357

浦添営業所／〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14
TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357

宜野湾営業所／〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357

沖繩営業所／〒904-2165 沖縄県沖繩市宮里2丁目1番3号
TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357

糸満営業所／〒901-0303 沖縄県糸満市兼城473-10 グレイスコート102
TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357

豊見城営業所／〒901-0211 沖縄県豊見城市字饒波499-14
TEL (098) 850-1455 (代) FAX (098) 996-3357



平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006 (プライバシーマーク 認定番号24000306 (08)) を取得いたしました。



商品・サービスは、印象とコミュニケーションを専門に人材育成研修や経営者のイメージコンサルティングです。

「イメージコンサルティング」とは、聞きなれない言葉かもしれませんが、「イメージ」という言葉から外見重視と受けとられますが、実は服装だけでなく、その人の佇まい、所作、表情、視線、本人のクセなどを総合的に指導します。



座長の三浦氏と友利博明氏

三月十九日、本年度最後となる宮古支部の三月支部例会が、宮古島ICT交流センターにて開催され、十六名が参加しました。先嶋産業(株)の代表取締役で支部幹事長の友

宮古支部例会 動き出した 『よい会社』への取り組み

利博明氏を報告者、(株)はやて専務の三浦宏が座長を務め、「動き出した『よい会社』への取り組み」というテーマで報告がありました。

友利氏は県内の大学で経済学を学び、祖父が創業し会長を務める建設会社に入社後、三十歳の時に子会社でのビジネスホテルの立ち上げの責任者に抜擢されます。当時、会社には明文化された経営理念は無く、ホテル建設に関しても明確なコンセプトや方向性も示されていない状況の中で、どうしてよいか分からず体



熱心なグループ討論

を壊しながらもなんとかオープンに漕ぎつけました。

この経験から、会社には明確な方向性が必要であると感じ、同友会の経営指針作成講座を受講し経営理念を作成。経営理念に基づく経営に取り組み始めた現状の報告があ

全てのビジネスは人と人とのつながりです

新垣社長は、十四年間で務めた会社で社長秘書の経験を経て、主任として育成に携わっている時期に会社の研修会で、エグゼクティブコーチの藤本

ゆかりさんとの出会いがあり、二十年前独立と同時にコーチングを学び、専門学校・企業研修講師

コンサルティングを更に学びました。その経験からイメージコンサルティングは、個人だけでなく企業にも必要と感じ、企業にどう生かせるかを考えたのです。

企業理念や広告でアピールしても経営者・社員の意識や行動に一貫性がなければ、お客様や取引先に伝わりません。私たちは人と人の関わり（繋がり）で生きています（ビジネスもプライベートも全て）。

また、印象・コミュニケーションは毎日繰り返されることなので、当たり前化してしまいます。当たり前化すると意識が

が楽しくなります。「意識」という言葉を何度も強調しています。コミュニケーションを磨いていくには、プライベート・企業の中で、個々の気づきと意識の持ち方がとても大切です。また、経営者の理念が浸透しているか？も大切です。「個々の成長と輝きが

企業を上げる＝企業イメージに繋がる」の信念のもと「カタチ」だけでなく考え方を強調して、実践重視の指導を行っています。

仕事の進め方としては、依頼先とヒアリングしながら企業ニーズに合わせたカリキュラムを提案していきます。

一番大切にしていることは「浅いコミュニケーションではなくできるだ

（オフィスあるふあ・青山喜佐子）



研修の様子



記念撮影

三月十二日、宮古支部独自では五年ぶりとなる「社長・社員共育塾」の

経営者こそが学び続けることが必須

りました。報告後は、「会社経営を維持発展させるために、取り組んでいること

はありますか？」のテーマでグループ討論が行われ、参加企業それぞれが直面している課題解決に

向けた意見交換がなされ学びの多い例会となりました。（株）はやて 三浦宏

第三講・修了式が未来創造センターで行われ、スポンサー受講を含め二十名が参加しました。第三講では、受講企業の五名より、「共育塾での学び発表」があり、第三講までの学んだ事等の報告共有が行われました。修了式では五社十名に終了証が授与されました。

共通した学びとして、「コミュニケーションは単なる会話ではなく、相手を理解する、愛する気持ちをもつて臨むことの

《会社概要》
アグレアーブル印象美人(株)
代表取締役 あらかき 咲美氏
〈浦西支部〉
所在地／西原町翁長237-1 plusGarden敷地内
TEL／090-9789-7899
事業内容／専門サービス業（人材育成研修、コンサルティング、コーチング、イメージコンサルティング）
URL／http://www.insyobijin.jp/company/

通常の観光客で満席になるモンブランに乗船して、ランチ後に海中を見渡せる部屋で魚の群れを見ることができました。宮古島のエメラルドグリーンを海上、海中の両方を体験でき、改めて宮古島の自然の偉大さを感じ



船内でのランチ会

三月二十日、クルーズ船 モンブランでランチ＆クルーズを開催しました。宮古支部女性部（グリーン光）は、三カ月一回は、交流の場として、ランチ会を開催しております。

今年度の最終のランチ会は、宮古支部会員(株)はやての専務の三浦氏のクルーズ船で支部全体の交流会として、参加者三十一名(内お子様五名)で賑やかに開催することになりました。

参加者は、ゲストの方、会員家族、お子様たちと多くの方を招いてのランチ会となったので、とても皆さんが満足した会となった、企画した柿本委員長もとても喜んでおりました。そして、このランチ会後に、入会希望する方もいたので、次年度も楽しいランチ会の開催企画をしていきます。グリーン光の女性パワーで宮古支部を盛り上げていきます。

(株)ひろし不動産 専務取締役 砂川千賀子



いざ、出航

宮古支部女性部（グリーン光） ランチ＆クルーズ会

きた」などと、経営者こそが学び続けることが必



懇親会の様子

須であるとの感想報告がありました。今回の共育塾を企画・主導された(同)楽技建宮國さやか経営委員長、講師の皆さま、同友会事務局の皆さま、素晴らしい学びの機会を本当にありがとうございました。（社福）みやこ福祉会障害者就業・生活支援センターみやこ 所長 神里裕丈



佐賀同友会会員との交流

二月二十七日に六次産業化委員会のメンバーで、佐賀同友会の会員企業視察と支部例会に参加してきました。企業視察では、(株)クラブジャパンのみどり農場へと行き、クラブジャパンのネーション農家ですが、国外からの輸出生花に市場をとられはじめ危機を感じ、別の新事業を始めましたが、軌道に乗り始めています。五月二十九日に予定しております第九回ゆいま〜る部会総会にて、クラブジャパンの平田社長を講師に記念講演を予定しておりますので、ぜひ新たなビジネスづくりのヒントを得にご参加ください。

佐賀支部例会は、福岡同友会の(株)イナバの稲葉雄大専務より報告をいただきました。軍手・手袋を六十五年製造している企業ですが、海外製に負けない「ものづくり」の話を聞けて中小企業の底力を感じることの出来る例会でした。

佐賀・長崎視察で 学びと交流のハイブリッド

三月十四日に北部支部六次産業化委員会とゆいま〜る部会の合同でINAHOFARMに企業視察を行いました。当日はあいにく雨が降っていましたが、小降りになったタイミングで見計らって、牧場の乳牛や施設内を見学しました。INAHOFARMは名護市天仁屋の山奥に位置する約五十万坪の広大な牧場です。訪れる人々は、ジャージー牛とのふれあいや滝壺で泳げるツアー、キャンプを体験できます。また、満月に近い週末には不定期でフルムーンパーティーが開催されるなど参加者は

北部支部と6次産業化委員会の 合同牧場視察

その次の日二十八日には、建設委員会のメンバーが長崎に視察を行いました。まず初めに、ジャパネットたかたが運営している、昨年十月にオープンした長崎スタジアムシティは、サッカースタジアムやバスケットコート、ホテル、商業施設などが入っている複合施設で、今回はプロジェクト担当に説明してもらいながらの視察を行いました。このスタジアムシティができたことにより、千人の雇用創出ができ、最近まで長崎県は県外転出率No.1だったそうです。



長崎スタジアムシティサッカーコート

が、そこからの脱却にも寄与したそうです。他に、平和記念資料館の見学と障害者雇用に取り組んでいる(有)エス・ケイ・フーズの中村こずえ相談役（長崎同友会代表理事）の会社訪問をし、バスケットチーム琉球ゴールデンキングス対長崎ヴェルガの試合観戦を行い、充実した視察となりました。（事務局）



広大な牧場をバックに集合写真

自然を通して楽しさを提供しています。ジャージー牛から取れた生乳で作ったヨーグルトやアイスクリームも販売されています。季節によつては養蜂も行われているそうです。しかし、広大な敷地に対して働く人員が少ない

持続可能な社会づくりにつながる 新サービス



下田社長の話を聞く参加者

三月二十四日、環境学習会を開催しました。十四名の参加者は、(株)共栄環境（下田美智代社長）が提供している不要品を次の活用先へとつなげるサービス「イナテス」を視察しにきました。再利用可能な物品は国外の必要とする人々へ届けられ、再利用できないものは資源として再生されます。使われなくなったパ

名の参加者は、(株)共栄環境（下田美智代社長）が提供している不要品を次の活用先へとつなげるサービス「イナテス」を視察しにきました。再利用可能な物品は国外の必要とする人々へ届けられ、再利用できないものは資源として再生されます。使われなくなったパ

ビジネス連携部会 「ゆいま〜る」 特集！！

ビジネス連携部会「ゆいま〜る」は異業種団体の強みを生かし、企業間連携による新たな仕事づくりを目指そうと2017年に設立されました。この特集ページは、その魅力に触れていただこうと、直近会合の記事をご紹介します。ご興味のある方は、同友会事務局までご連絡ください。

ホテル視察で 多様性と包摂の重要性を実感

三月十日、那覇市・国際通りにあるホテルパームロイヤル那覇を視察しました。同ホテルは二〇一三年に日本のホテル業界で初めてLGBTQフレンドリー宣言を行

ことからできることが限られてしまい、収益に影響しているとのことでした。そこで、参加したメンバーで意見を出し合い、解決策を考えました。

視察の最後には、牧場で販売されているジャージー牛乳無添加アイスクリームを堪能して見学を終えました。

(株)オキジム・當山安史



リゾート感あふれるプールサイド



3月ゆいピッチ

ゆいピッチ（事業プレゼン会）

ソコン、コピー機などのビジネス品から掃除機、お皿などの家庭用品などありとあらゆるものを回収・買取をしています。

この仕組みに触れた参加者からは「捨てる前にできることを考えたい」との声が上がり、今までの処分料を払っていたもの

が、お金までもらえて、違う形で別の誰かの役に立つことの出来るこのサービスに関心を集めていました。（事務局）

ビジネス連携部会「ゆいま〜る」は、毎月1回会員企業の強み・弱みと課題を共有する「ゆいピッチ（事業プレゼン会）」をこれまで九回開催されました。三月十三日はメカ

的な経営など、先進的な取り組みが評価されております。高倉社長からの説明を受け、ホテル館内を視察させてもらいましたが、国際通りに面している立地ながら、リゾート感も味わえるホテルとなっておりまし

大宮工機で開催された四月十日は、橋梁の点検・補修を行っているエフマック(株)の福石堅太郎社長、中小企業向けにDX



4月ゆいピッチ

中小企業魅力発見フェア

日時：7月17日（木）13:00～17:00

会場：てだこホール 小ホール

共催：沖縄総合事務局、中小機構沖縄事務所、沖縄県、沖縄同友会

テーマ：「若い感性で探る中小企業の魅力と可能性」

内容：県内大学・専門学生による企業魅力発見報告会



第15期同友会大学院第3・4・5講



古塚達朗氏

第十五期同友会大学院は、「古の伝統文化に学ぶ」をテーマに全5講で開講。琉球歴史文化コンサルティング代表コンサルタントの古塚達朗氏が講師をとめます。

第3講は三月十五日に「沖縄の伝統文化」と題して琉球王国時代の学問や文学の発達、さらに屋敷づくり美術工芸などについて学びました。学校の必要性を説いた名護親方寵文（程順則、

1663-1734）が「六諭衍義（りくゆえんぎ）」を中国から持ち帰り、教訓書として広めた話。今こそ赤瓦が当たり前に広がる屋敷ですが、瓦を載せられるのは士族のみ。十三世紀ごろに作られた黒瓦が一番古いなど、知られていない琉球歴史を紐解いていただきました。

第4講「座って学ぶ『識名園』」では、一七九九年に完成した琉球王家最大の別邸で、冊封使の接待や国王一家の保養などに利用されていた識名園で、当時の様子を説明いただきました。識名園は八十年前の沖

あり、タイムスリップしている感覚になります。第5講歩いて学ぶ『識名園』は園に入る前からスタート。世界遺産に登録され看板や碑にまつわる逸話などユーモア交じりに話され、その後じつくりと園内を歩きながら、説明を聞きました。大陸から来る冊封使に対し、小国ではないと思わせる工夫が至る所に施されるとともに、石積

のすばらしさ（地震で崩れない）、石橋のアーチの美意識、国王・王妃（当時の身長150、155）が見る屋敷内から琉球庭園など、枚挙にきりがありません。屋敷内・外ともに、「識名園は琉球文化の粋を集め世界に誇れる。美意識や管理するためのテクニクが随所に隠れている。日常生活・経営にも生かせる知恵を感じてもらいたい」と古塚氏からの挨拶で講義終了となりました。受講生の皆さんは、全講義が終わり五月二十日の修了式に向けて修士論文の作成へ挑みます。今回、外国人観光客が複数台バスで乗り付けるなど、園内では多国籍の言葉が飛び交い、雰囲気もにぎやかになりました。インバウンドの復活も印象付ける講義となりました。（事務局）

共同求人委員会
真和志高校「合説」に287名が参加！

共同求人委員会は、三月十一日、真和志高校体育館にて、学内合同企業説明会を開催し、同友会企業十社が各ブースにて自社をアピールしまし

で伝える」
「1人でなく一緒に学ぶ。価値観のすり合わせ。人脈は資産などなど、とても為になるお話が聞けて学びになりました」



ブースでの企業説明

浦西支部
ChatGPT学習会

三月十九日、沖縄設計サービスにおいて、浦西支部 ChatGPT学習会が十六名の参加で開催されました。講師は中部支部で夢づくり沖縄の新井良直氏が務め、ChatGPTを含めた、AIの活用方

法を学びました。当日の参加者は事前にChatGPTのアカウント登録を済ませ、パソコンやタブレットで操作しながらのレクチャーを受けました。AIを使って仕事効率化を図るためには、まず自分自身が使ってみることが肝心で、参加者の感想として、「遊び心から始めても十分に仕事の効率化向上に繋がることが実感できた」「事例を参考に自社で出来るかも」等が挙がりました。（事務局）

卒業ゴルフコンペ開催

三月二十八日に沖縄力ントリークラブにて若手経営者部会「うりずん」卒業ゴルフコンペが開催されました。

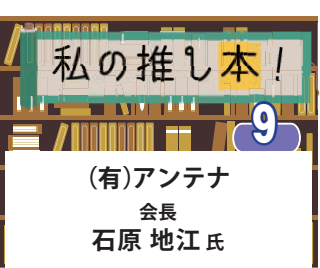
「うりずん」は四十五歳で卒業という期間限定の部会のため、例年五月の部会総会で卒業式を執り行います。ゴルフが趣味の方も多いため、卒業記念のゴルフコンペも毎年開催しています。ゴルフの後、表彰式&懇親会を移動して開催。卒業



ゴルフコンペあとの懇親会

『月火水木金銀土日
銀曜日になにしよう?』

かつて当社では、有給を取得すると他の社員に負担がかかるという理由で、有給取得が進まないという課題を抱えていま



した。間接業務の見直しや休暇計画の策定にも取り組みましたが、なかなか成果は出ません。そこで試みたのが、この絵本の読み聞かせです。物語の主人公は、忙しい日々を過ごすなかで、突如として現れた「銀曜日」という架空の曜日に何をしようかと考えます。この「空白の一日」は、働く大人にとって創造性や余裕のある時間の大切さを象徴しています。初めは戸惑っていた社員たちも、読み進めるう

ちに自然と笑顔になり、今では「有給」のことを「銀曜日」と呼ぶようになりました。それぞれが自分の時間を大切にし、人生を豊かにする時間を確保できるようなったのです。この絵本は、経営者に求められる柔軟な思考や、新しい価値の創造について考えさせられる一冊です。日々のルーチンから一歩離れ、未知の可能性を楽しむ心を育てるために、想像力を働かせて豊かな時間の過ごし方を見直したい方におすすめします。

コースNo. 110

信頼関係を高め、一体感を生む職場づくり

コミュニケーション&コーチング力強化研修

【沖縄教室】

研修のねらい

若手社員の離職防止、年上部下との関わり方、ひとり一人に合わせた指導やモチベーションを高める方法など、管理者に求められるコミュニケーション能力は日々難易度を増しています。仕事への意識や価値観が多様化する中、管理者は組織を活性化していくためにコミュニケーションやコーチングの力を高め、部下との良好な関係を築くことが求められます。この研修では、管理者が悩める若手社員や部下に寄り添いながら、その主体性・やる気を引き出し、組織の戦力へと育てていくためのコミュニケーションやコーチングの効果的な実践方法について、演習を交えて具体的に学びます。

中小企業大学校 人吉校

Be a Great Small. 中小機構

TEL: 0966-23-6800 (平日 9:00~17:30)

FAX: 0966-22-1456

お気軽にお問い合わせください。

人吉校 検索

定員 20名

受講料 22,000円(税込)

研修期間

2025年【2日間】

6/18(水)~6/19(木)

会場

沖縄産業支援センター

沖縄県那覇市字小禄1831番地1

対象者

管理者/新任管理者

講師紹介(敬称略)

オフィスブルーミングスマイルズ 代表 植村 恵美 (うゑむら えみ)

福岡県出身。西南学院大学商学部経営学科を卒業後、資格取得支援機関やプロの司会者として経験を積み、2008年にオフィスブルーミングスマイルズを設立。企業戦略の達成に向けた「人的資本経営」の実践を支援するプロフェッショナルとして、組織の課題解決や組織強化のための伴走支援を行う。特に、エグゼクティブ向けの「1on1コーチング」、スピーチスキル強化のためのプレゼンテーション講習、さらには、リスクマネジメント領域のハラスメント対策やメンタルヘルス対応において、高い専門性を発揮し、企業の付加価値向上に寄与している。また、地域社会との連携も重視し、花火大会やイベントでのMCを務め、地域活性化にも尽力。人材教育・育成から経営コンサルティング、組織力強化に至るまで、あらゆる視点から企業の成長をサポートし、持続可能な経営の実現に貢献する存在として、高い評価を受けている。一般社団法人企業まるごとノンバーバルコミュニケーション協会 代表理事。